

第3学年 道徳科学習指導案

日 時 令和3年10月27日(水)

生 徒 一関市立大原中学校 3年A組 17名

授業者 小 山 淳

1 主題名 法やきまりの意義

【C 主として集団や社会との関わりに関すること (10) 遵法精神、公德心】

2 教材名 「二通の手紙」 出典「中学道徳 あすを生きる3」(日本文教出版)

3 ねらい 法やきまりは人々の幸福を守るためであることを理解し、それらを主体的に守ることによって、規律ある安定した社会の実現に努めようとする態度を育てる。

4 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

中学校学習指導要領「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の(10)は、「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。」に関する内容項目である。

「法やきまり」は、集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものである。また、社会の秩序と規律を守ることによって個人の自由が保障される。そうした法やきまりを、融通の利かない冷徹なものとして理解したり、自分の欲望のままに生活することを制限するものとして捉えたりして仕方なく従うのは、進んで法を守ることではない。法やきまりは私たちの生活や社会をよりよくするために作られていることに気付かせ、よりよいものに変えていこうとするなど積極的に関わろうとする態度を育てるように指導していくことが大切である。

(2) 生徒の実態について

(略)

(3) 教材について

本教材「二通の手紙」では、主人公である動物園職員・元さんの規則違反を犯して幼い姉弟を入園させた行動が、結果的に姉弟を危険にさらし、多くの園職員をも巻き込む問題に発展する。その後、元さんのもとには、姉弟の母親からのお礼の手紙と、園からの懲戒処分という二通の手紙が届き、それらを並べて考えた元さんは、自ら職を辞し、職場を去るという話である。

指導に当たって、まず、元さんの姉弟への思いやりと規則違反を単に二者択一のものとして対比させるのではなく、規則違反という選択をせざるを得なかった元さんの置かれた状況とその心情に十分に共感させたい。次に、この出来事を通して変容した登場人物である佐々木さんに注目し、行動としては規則を優先させている佐々木さんを支える思いについて話し合うことで、法やきまりを守ることにも相手を思いやることであり、人々の幸福を守ることにつながることを気付かせたい。以上のような学習を通し、法やきまりを主体的に守り、よりよい社会を実現しようとする態度を養いたい。

なお、内容項目「遵法精神、公德心」に関わっては、本時の学習をふまえ、2月に教材「ワンス・アポンア・タイム・イン・ジャパン」を扱う中で、公德心の大切さを実感的に理解し、規律ある社会の実現に努めようとする実践意欲を養うことにつなげていきたい。

4 指導にあたって

(1) 道徳的問題を主体的にとらえるための導入の在り方

導入において、1、2年時の道徳科の授業で「きまり」について考えたことを、ICT機器を活用して振り返る。生徒の実態と教材の内容を踏まえて行ってきたこれまでの学習では、「相手の気持ちを考えたうえで、よいかだめか判断する」といった感想が多く見られた。このようなこれまでの考えを共有したうえで、本時では、これまでとは違った視点から法やきまりを守る大切さについて考えるという課題意識をもたせる。

(2) 対話を通して人間としての生き方についての考えを深める展開の在り方

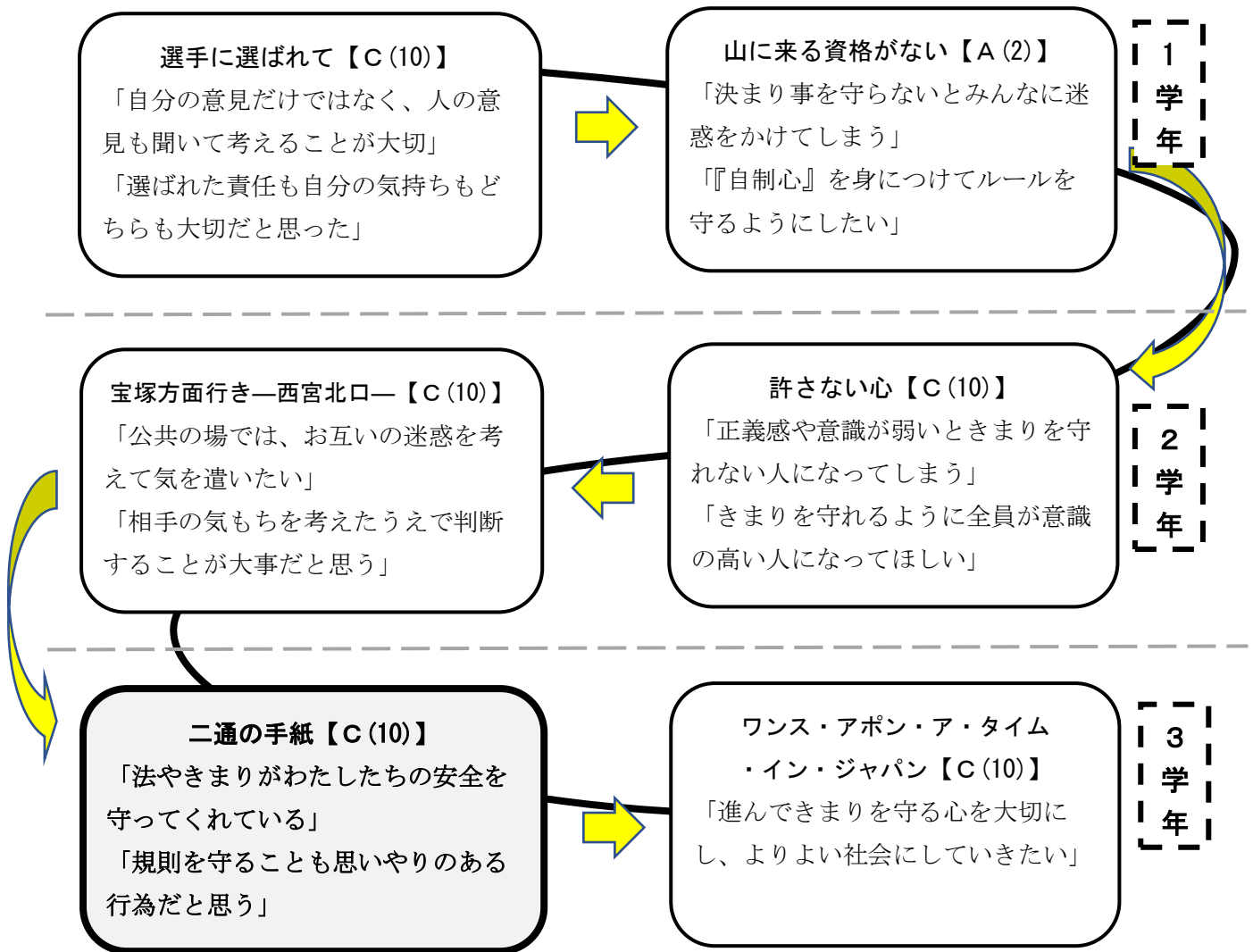
主人公である元さんの心情に共感して人間理解を深めたうえで、中心発問では、きまりを優先する佐々木さんの行動に注目し、それを支えている思いを話し合う。このことを通して、法やきまりの意義について、道徳的諸価値の理解を図りながら、多面的・多角的に考えることができるようにする。その際、出された複数の価値を類型化して位置付けたりしながら、対話の充実につなげるために、タブレット機や電子黒板を使用して、生徒が他者の考えを見ながら、自分の思いを表現できるように工夫する。

(3) 人間としての生き方についての考えを深めるための終末の工夫

学んだ道徳的価値に照らし合わせ、自分を見つめることができるように、法やきまりの意義について書く活動を設定する。そして、考え方の多様さに気付いたり、級友の考えも取り入れて自分の価値観を広げたりできるように、また、それによって、主体的に社会に関わろうとする気持ちの芽生えにつながるように、自分のこととして書いた「法やきまりについての考え」を発表し合う活動も設定し、道徳的態度の育成を図る。

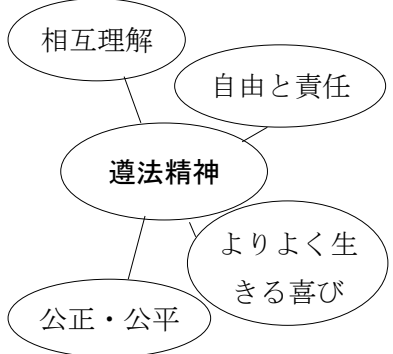
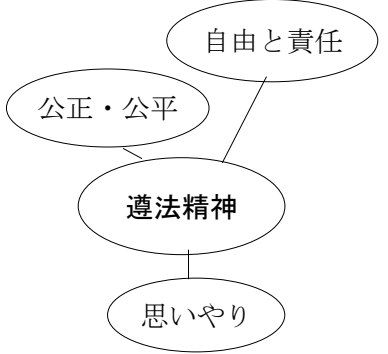
5 学びのつながり

「法やきまりの意義」という主題について、本校道徳科における3年間の学びのつながりを以下のように考える。生徒は、「法やきまりの意義」について、3年間を通し、多面的・多角的に考え、学びを深めていく。ただし、生徒一人一人は必ずしも同一に発達しているわけではないため、生徒一人一人を考慮し、道徳的価値の自覚を深めていくことができるよう配慮する。



5 教材分析図

主題名	法やきまりの意義 C - (10)
教材名	二通の手紙
ねらい	法やきまりは人々の幸福を守るためにあることを理解し、それらを主体的に守ることによって、よりよい社会を実現していこうとする態度を育てる。

<p>主な場面</p>	<p>毎日動物園をのぞきに来ていた幼い姉弟が、入園時間終了後、保護者の同伴なしで来園する。元さんは動物園の規則を破り、姉弟を入園させる。</p>	<p>数日後、姉弟の母親から感謝の手紙が届く。しかし、今回の事件が問題となり、懲戒処分を受けた元さんは、自ら職を辞し、職場を去る。</p>	<p>入園終了時刻を厳守する佐々木さんを不服に思う山田。それに対して佐々木さんは何かを思い出すように話し始める。</p>
<p>登場人物の意識</p>	<p>【元さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園を断るのはかわいそうだ。 ・姉弟を喜ばせてあげたい。 ・この状況なら少しくらい規則を破ることになってもしようがないだろう。 ・こうする他なかったのだ。 	<p>【佐々木さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園させた時は元さんの判断に異存はなかったが、一歩間違えば家族の幸せを壊してしまったかもしれないことだった。 ・処分には納得いかなかったが、「初めて考えさせられることばかり」という、元さんのあの日の言葉の意味を今も考え続けている。 	<p>【佐々木さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを破ることで、誰かを危険にさらしたり不幸にしたりすることにつながるかもしれない。 ・きまりを守ることでみんなが安心して安全な生活を送ることができる。 ・きまりを守るからことは、みんなの幸せを守ることなのだ。 ・きまりを守ることも誰かを思う優しい行為だ。
<p>価値の関連</p>			
<p>気付かせたいこと</p>	<p>・姉弟のために何とかしたいと考え、止むを得ず規則違反を犯してしまう元さんの心情。</p>	<p>・元さんに起こった出来事を通して、佐々木さんの「法やきまりの意義」に対する考え方が大きく変わったこと。</p>	<p>・園の規則を遵守することにより、来園者やその家族、職員も含め、多くの人々の幸せな生活を守っているのだという佐々木さんの思い。</p>
<p>主な発問</p>	<p>○元さんがあえてきまりを破り、姉弟を入園させたのはどんな思いからでしょうか。</p>	<p>○佐々木さんの考えが変わったきっかけは何だと思えますか。</p>	<p>○きまりを優先する佐々木さんの行動を支えている思いは、どんなものでしょうか。</p>

6 本時の展開

展開	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>導入 5分</p>	<p>1 「きまり」について、これまでの道徳科の授業で考えたことを振り返り、課題意識をもつ。</p> <p>○「相手の気持ち」を考えれば、きまりを破ってもよいのでしょうか。</p>	<p>※授業で考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りに迷惑をかけないことが大切。 ・自制心、正義感、強い心をもつことが大切。 ・相手の気持ちを考えることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年時に行った道徳科の授業の感想をパワーポイント使って提示し、「きまり」について考えたことを振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「相手の気持ちを考えるのが大切」という生徒の感想から、「法やきまりの意義」にいて課題意識をもたせ、本時の学習につなげる。 <p style="text-align: right;">【手立て1】</p> </div>
<p>展開 35分</p>	<p>2 教材のあらすじを想起し、登場人物、状況を把握する。</p> <p>3 教材を通してきまりの意義について考え、話し合う。</p> <p>○この動物園のきまりは何のためにあるのでしょうか。</p> <p>(1)規則を破って姉弟を入場させてしまう元さんの心情を考える。</p> <p>○元さんがあえてきまりを破り、姉弟を入園させたのはどんな思いからでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全のため。 ・入園時間を守らないと職員が帰れないため。 ・動物園をじっくり楽しむため。 ・皆が安心して動物園を楽しむため。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがかわいそうだ。 ・子どもたちを喜ばせてあげたい。 ・子どもたちのためなら、 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材は事前に読ませておく。 ・登場人物のイラスト等を用いて条件・状況をおさえる。 ・元さんが破った園の規則を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・動物園の規則が設定されている理由を確認し、この後の話合いの土台とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・姉弟への思いから、規則違反は承知のうえで入園させてしまった元さんの心情に共感させる。

○この行動をどう思いますか。

(2) 佐々木さんの行動を支えている
思いについて話し合う。

○佐々木さんの考えが変わった
きっかけは何だと思いま
すか。

◎きまりを優先する佐々木さん
の行動を支えている思いは、ど
んなものでしょうか。

- ・ロイロノートを使って、自分
の考えを表明する。
- ・全員の考えを一覧で共有しな
がら、そのように考えた理由
や込められた思いを話し合
う。

○きまりを守ることで、佐々木さ
んが守っているものは何でし
ょうか。

少しくらい規則を破って
もしょうがない。

- ・姉弟のことを思う優しい
行動だ。
- ・母親が喜んでくれたし、
よかったのではないか。
- ・きまりを破ったことは
許されないが、しかたが
ない状況だ。
- ・結果的に、多くの人に迷
惑をかけ、子どもたちを
危険にさらしてしまった。

- ・元さんに起きた出来事。
- ・元さんが処分されたこ
と。
- ・元さんが自ら職を辞した
こと。
- ・きまりを破ることで、誰
かを危険にさらしたり不
幸にしたりすることにつ
ながるかもしれない。
- ・安全に、動物園を楽しん
でもらうためには、きま
りを守ることが大切だ。
- ・きまりを守ることで安全
で安心した生活を送るこ
とができる。
- ・きまりを守るからこそ、
みんなの笑顔が守れる。
- ・きまりを守ることも誰か
を思う優しい行為だ。
- ・安心、安全
- ・みんなの楽しみ
- ・みんなの生活
- ・みんなの権利

- ・元さんの行動について、
「賛成」、「反対」といっ
た二者択一の問い方では
ない形で考えさせること
で、元さんの置かれた情
況において規則を守るこ
とに難しさが伴うことに
ついて共感的に理解を深
めさせる。(人間理解)

- ・きまりに対する考えが
最も変化した登場人物
に注目し、その思いを
話し合うことを通し
て、「法やきまりの意
義」について、自分と
の関わりで考えるこ
とができるようにする。

【手立て2-①】

- ・全体で話し合う中で、
出された考えを類型
化することにより、多
面的・多角的に考える
ことができるように
する。【手立て2-②】

- ・全員の考えを一覧で眺
め、自他の考えや他者同
士の考えを比較しなが
ら、そのように考えた理
由等、思いを話し合うこ
とを通して、多面的・多
角的に考えさせる。
(価値理解)(他者理解)

終末 10分	4 学んだ道徳的価値を基に、自己を見つめる。 ○法やきまりについて、考えたことはどんなことですか。		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・「法やきまりの意義」について書く活動を通して、学んだ道徳的価値に照らし、自己を見つめることができるようにする。</p> <p>【手立て2-②】</p> </div>
-----------	--	--	--

7 評価の視点

きまりを守る行動を支える思いについて話し合うことを通して、法やきまりの意義について一つの見方ではなく、多面的・多角的に捉えて考えている。 ◆方法（発言及び話し合い、ワークシート）

板書計画

法やきまりについて考えたことは？

法やきまりの意義
 ・周りに迷惑
 ・自制心
 ・相手の気持ち

かわいそうだという
気持ちはわかる

挿絵①
入園を断る
佐々木さん

☆佐々木さんを支える思いは？
 きまりを破ると・・・
 ・傷つけてしまう
 ・迷惑をかけてしまう
 ・悲しむ人が出るかも
 ・きまりを守ることで・・・
 ・安全に楽しめる
 ・笑顔

優しさ

異存はない。

処分に納得
いかない。

◎どう思う？

- ・優しいと思うけど・・・
- ・きまりだから守らないとダメ
- ・少しくらいなら・・・

元さんの思いは？

- ・かわいそう
- ・子どもを喜ばせたい

動物園のきまり

挿絵②
入園を許可する
元さん

挿絵①
入園を断る
佐々木さん

動物園のきまり

- ・安全
- ・安心
- ・職員が帰れない
- ・ゆっくり楽しむため

二通の手紙

- ・冷たい
- ・固い
- ・決まりを守っている